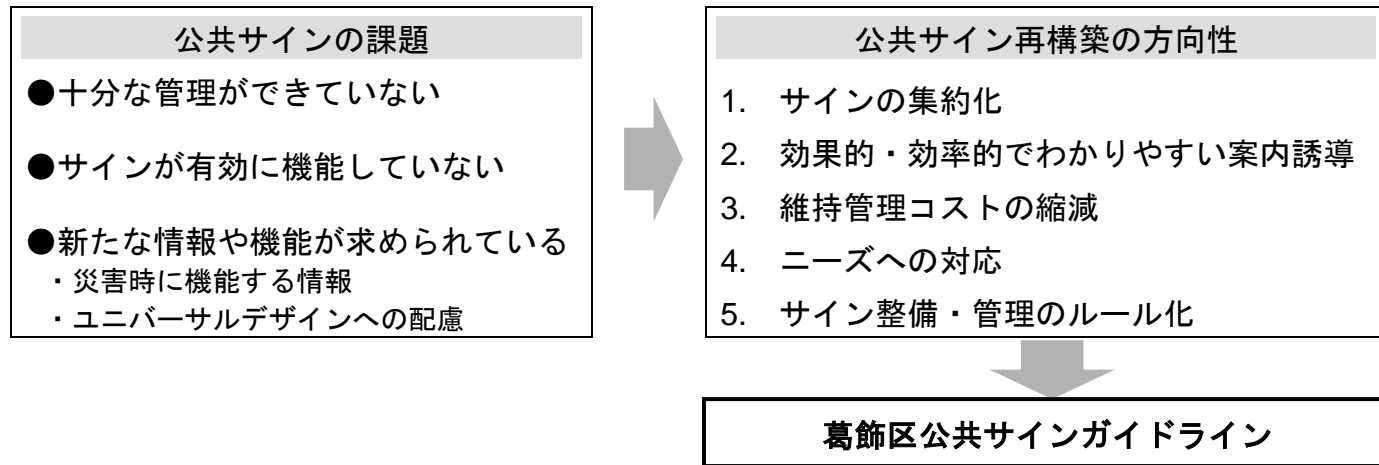


葛飾区公共サインガイドライン 概要版

1. 策定の趣旨

- 葛飾区内の公共サインの設置・管理に関する現状調査、区民及び公共サイン利用者へのアンケート調査等から明らかとなった既存サインの諸課題に対応し、公共サインに求められる新たな役割や機能に応えた、利用者にとって使いやすい公共サインを整備していくため、公共サインの再構築を図る。
- 「葛飾区公共サインガイドライン」は、公共サイン再構築の方向性に基づく新たな公共サインの整備にあたり、基本的なルールを定める。

■公共サインの課題と再構築の方向性



2. 適用範囲

- 主に歩行者に向けた公共施設等への案内誘導を目的として、葛飾区が区内に設置するサインを対象とする。

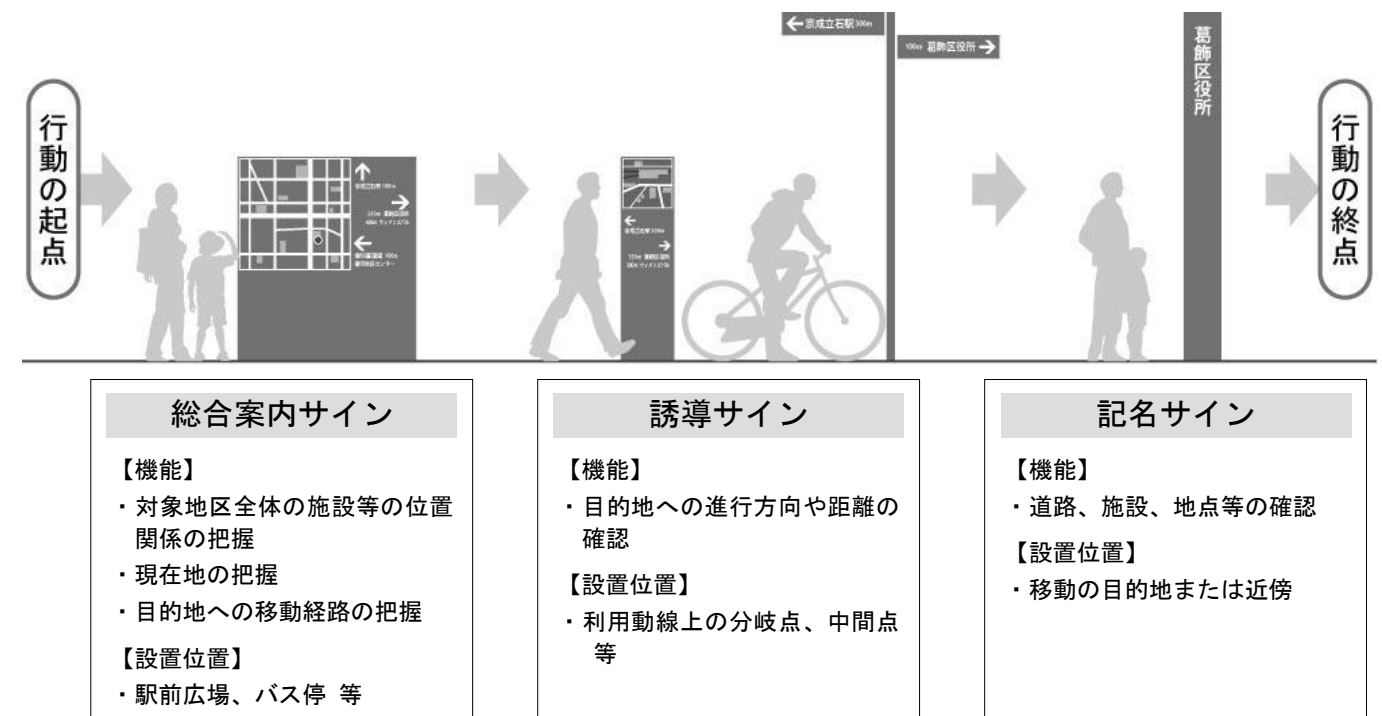
■既存サインへのガイドラインの適用

【準拠するサイン】			【参照するサイン】	
地図を用いて公共施設、観光施設、現在地を案内するサイン			街区表示板	
拠点サイン	観光案内標識 i マーク	住居表示案内板	街区表示板	
公共施設等の方向や名称を示すサイン		観光関連サイン	防災関連サイン	
公共施設等の方向を示すサイン	道路名称サイン	観光案内板	避難場所サイン	一時集合場所サイン

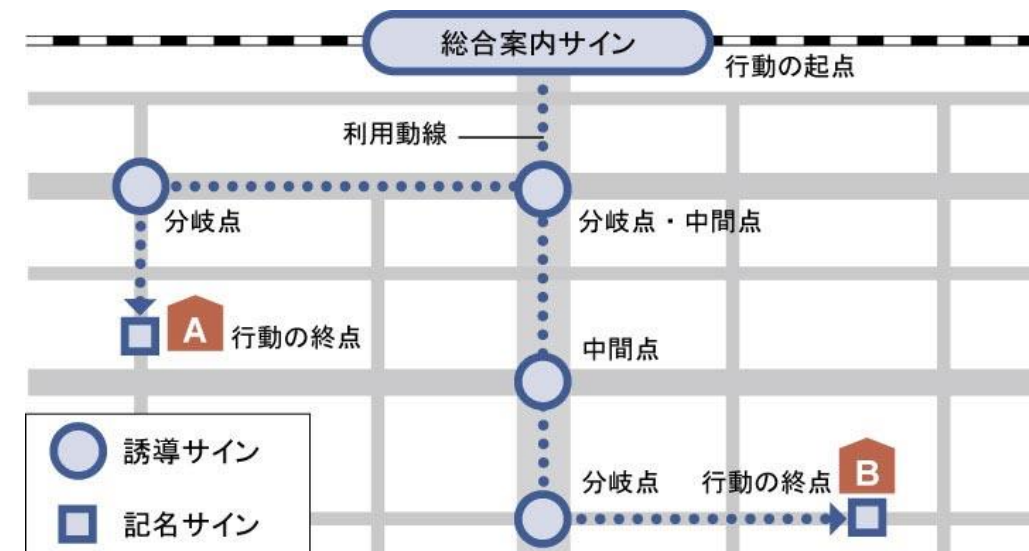
3. 案内誘導システム

- 公共サインの種別を総合案内サイン、誘導サイン、記名サインの3種とする。
- 種別ごとの機能を連携させ、行動の起点から終点に向けて階層的にサインを配置する。
- 既存サインについて、目的と機能を考慮して集約を図る。

■公共サインの種別と機能



■公共サイン配置の基本型



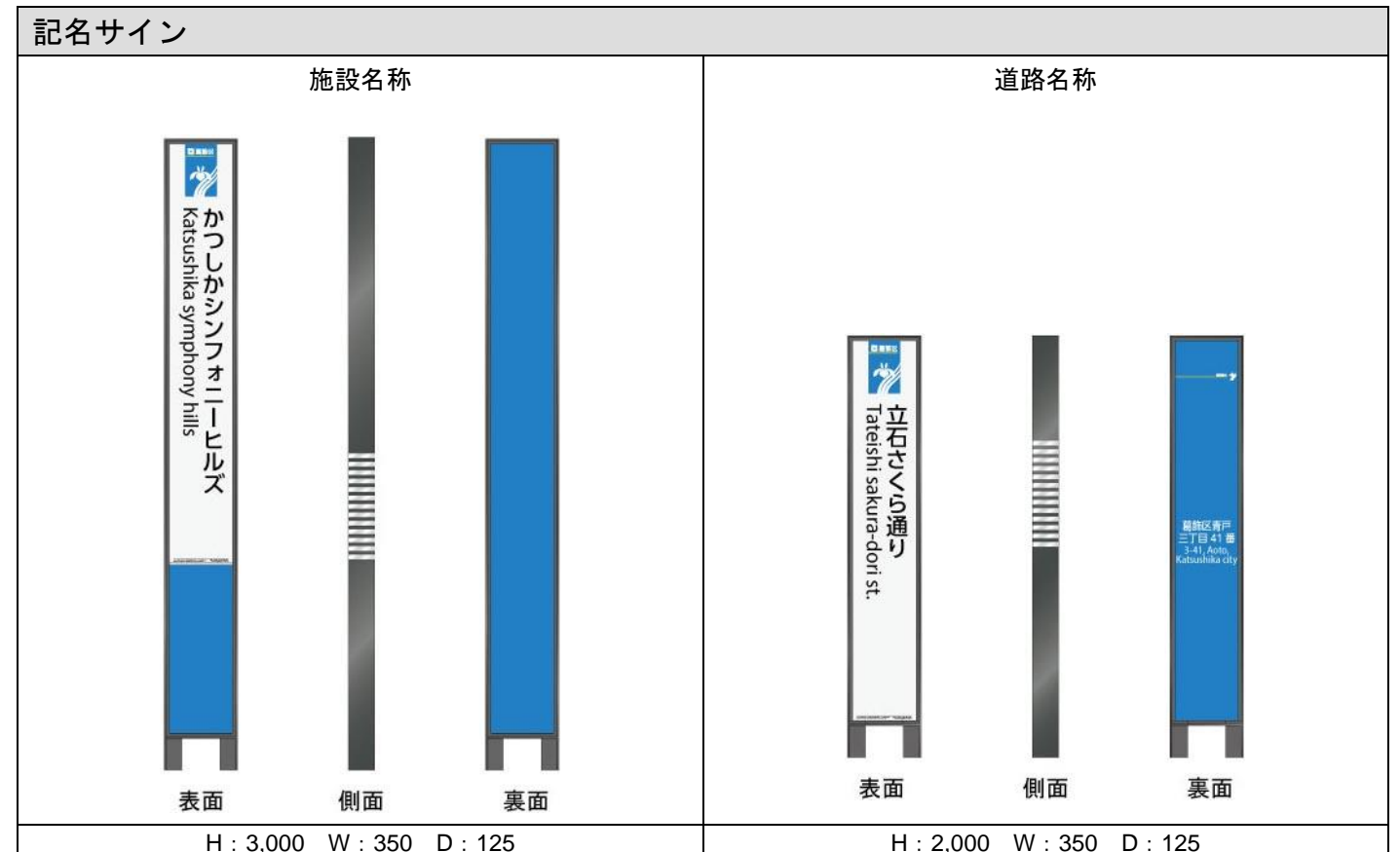
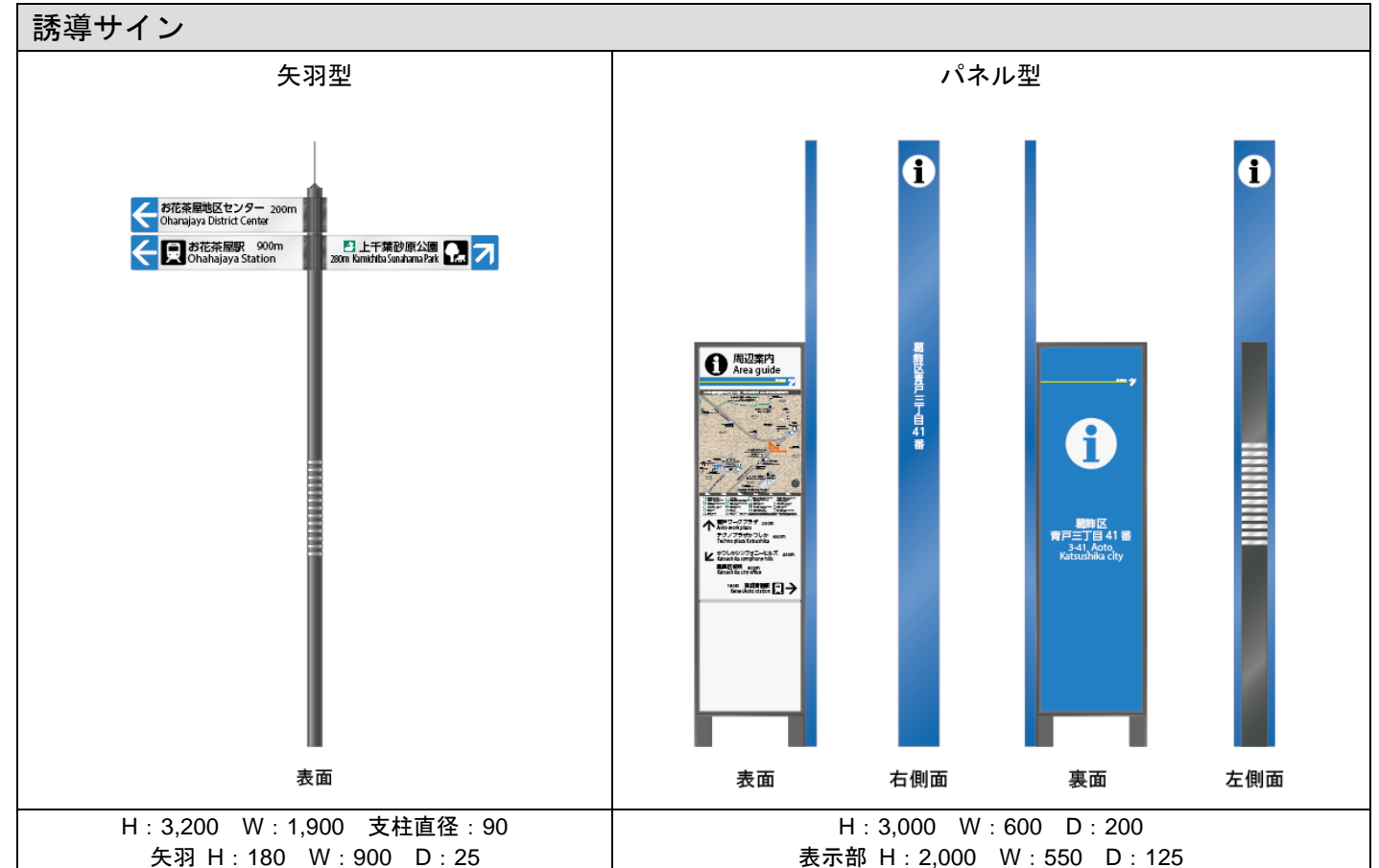
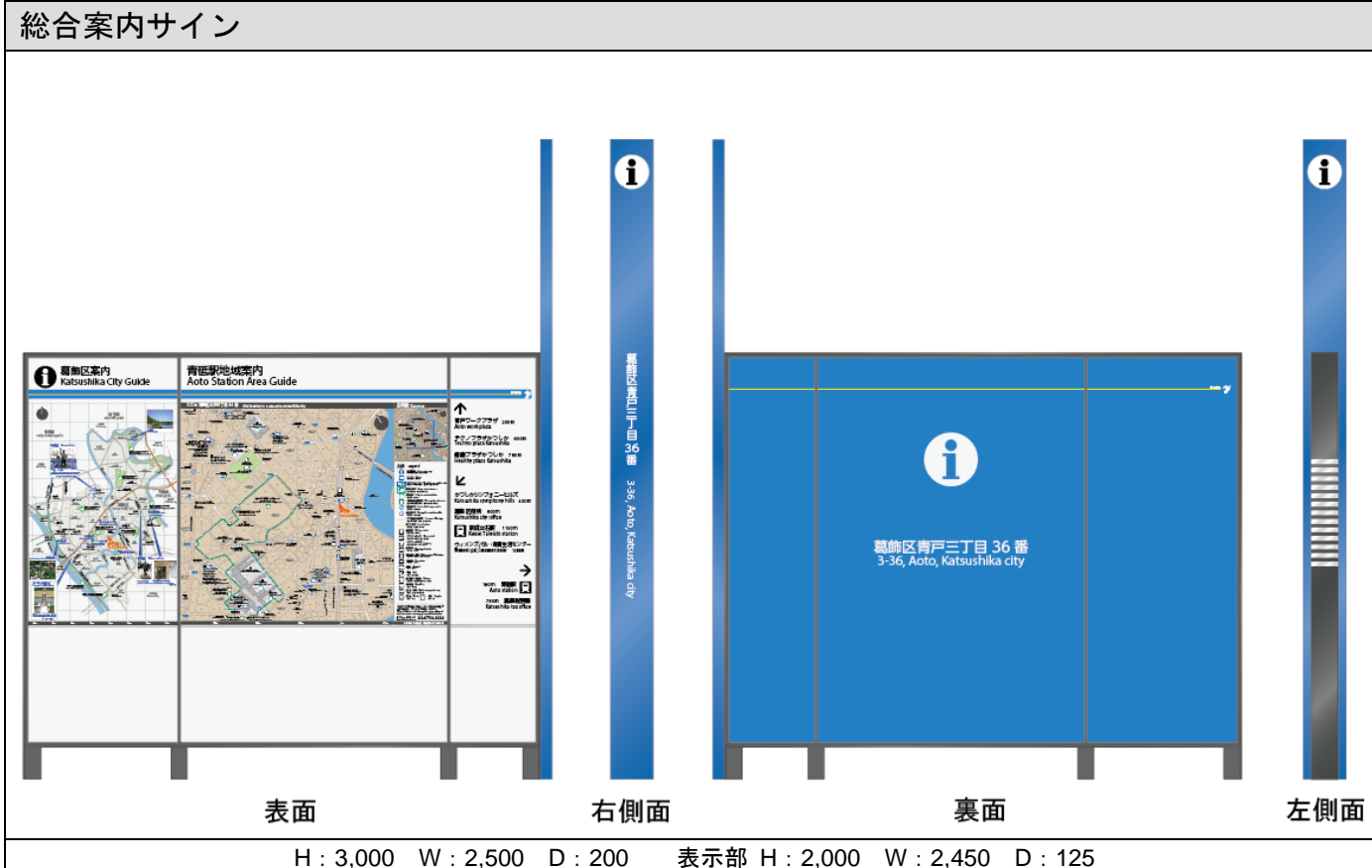
4. 本体デザイン

- 公共サインとしての顕在性と、統一感のあるシンプルなデザインの両立を図る。
- ユニバーサルデザインに配慮した本体構造とする。
- 耐久性のある素材、情報更新の容易な表示方法を採用する。

■本体デザインのポイント

- ・ダークグレーのフレーム、ライトグレーの表示面を基調とし、裏面等に葛飾区コミュニケーションマークの色彩を使用
- ・耐久性・耐候性の高い材質を採用
- ・サイン本体と表示盤面とを構造的に分離し、情報更新の容易性に配慮
- ・情報量の多いパネル型サインの表示の中心高さを 1,250mm とし、だれにでも利用しやすい表示高さに配慮
- ・パネル型サインの支柱の一部を 3m とし i マークを表示して視認性を向上、側面に現在地を表示
- ・側面に反射素材等を使用した目印を設置し夜間の視認性に配慮
- ・清掃、貼り紙や落書きへの対応など、維持管理の容易性に配慮

■標準デザイン図



注) 縮尺 : 約 1/35、単位 : mm、寸法は概略、表示内容はイメージです

5. 表示デザイン

■表示の原則

言語	文字	図記号	文字・図記号の大きさ	色彩
<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の併記を基本とする。 地図の凡例部は日・英・中・韓の4言語で表示する。 必要に応じて他の言語を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 角ゴシック体を基本とする。 他国語は角ゴシック体に調和する書体を使用する。 必要に応じて他の書体を選択する。 ユニバーサルデザインに配慮された書体を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> JISに規定の「案内用図記号」の使用を基本とする。 JIS規定以外の図記号は、認知度を考慮して使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の視距離に応じ適切な大きさとする。 和文・英文の文字と図記号の大きさ比率を4:3:9程度とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 明度差のある視認性の高い色彩の組み合わせを用いる。 JIS等に規定のある記号等は、規定の色彩を用いる。

■地図

葛飾区全図

- 区全域、主な施設や観光資源、避難場所を表示する。
- 常に北が上になるよう配置する。

地域案内図

- 現在地を含む1~1.5kmの範囲を表示する。
- 移動の手掛かりとなる道路や施設などをきめ細かく表示する。
- 利用者の前方が上になるように配置する。

広域図

- 地域案内図よりも広域の地理を表示する。
- 地域案内図の表示範囲外の主要施設を表示する。

区内の主要な観光資源を写真で表示

避難場所の名称と範囲を表示

地図上にスケールバーと一定間隔のグリッドを表示

現在地を表示

避難所、災害時医療救護所となる施設を図記号で表示

避難場所の名称と範囲を表示

地図上にスケールバーと一定間隔のグリッドを表示

地域案内図の表示範囲を表示

凡例に図記号の意味を4言語で表示

利用者からの情報を受け付ける連絡先および管理番号を表示

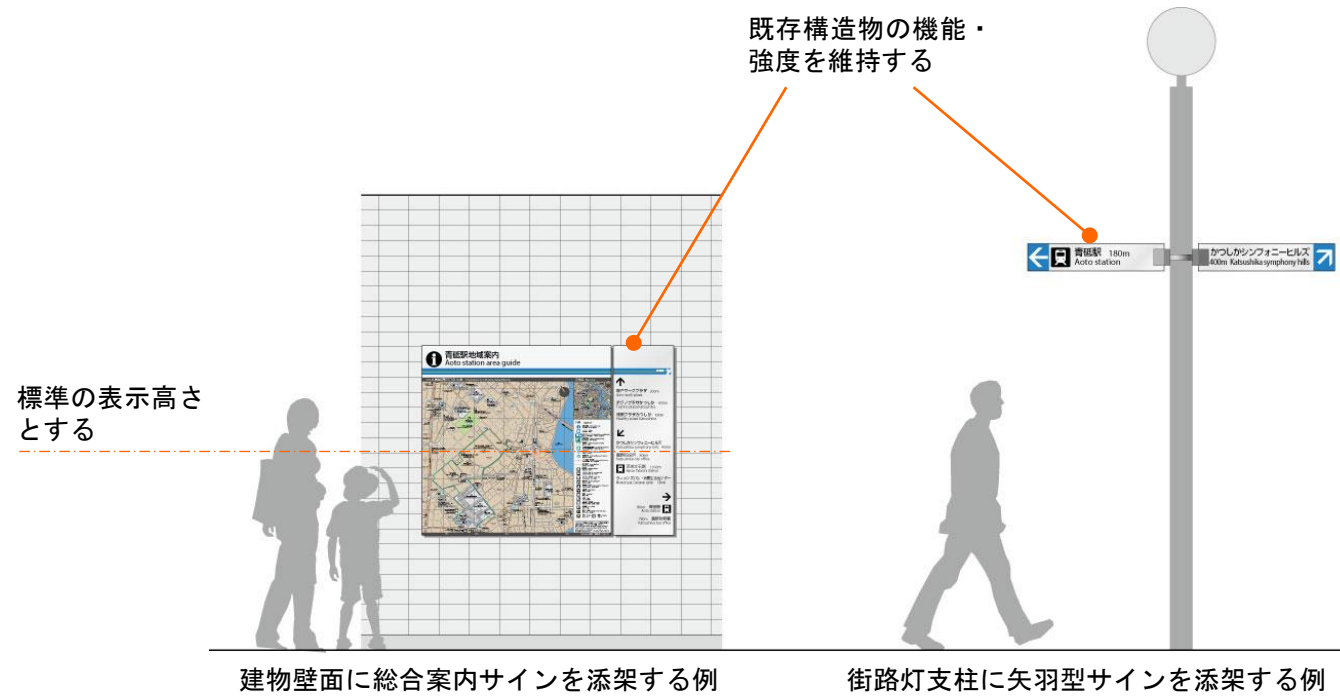
このサインが破損した場合、もしくは情報の更新が必要な場合は、こちらまでご連絡ください。
 When this sign board is damaged or when update the information is necessary, please call this number.
 葛飾区コールセンター 03-6758-2222
 葛飾区コールセンター
 2015年9月設置 管理番号 AT-G02-15

6. 応用展開

○サイン整備にあたり、現地での空間的制約や情報ニーズ等に応じ標準デザインを変更して対応する方策を「応用展開」として示す。

■既存構造物への添架

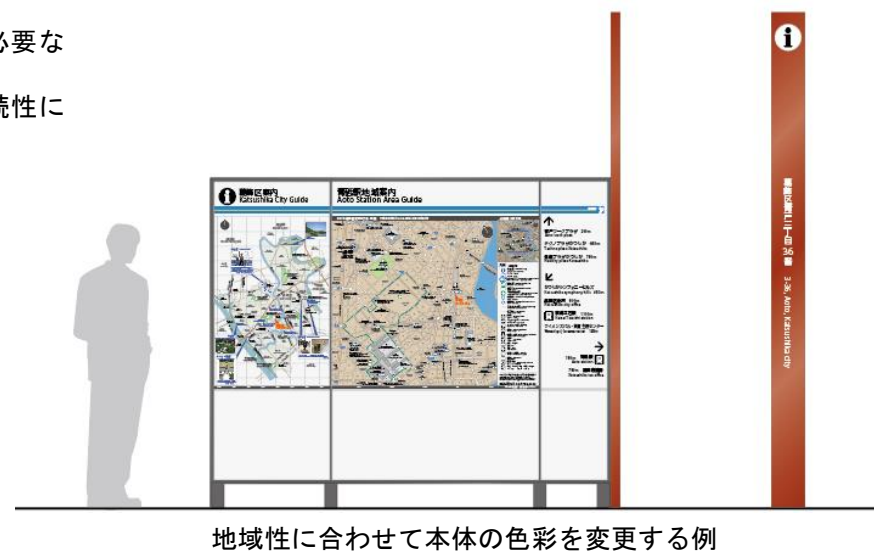
- ・サイン設置の余地がない、または景観の煩雑化のおそれがある場合等に、街路灯支柱や建物壁面などの既存構造物を利用してサインを設置する。



■本体デザインの変更

- ・観光地等において、地域性を演出して観光客等へのホスピタリティ向上を図る。

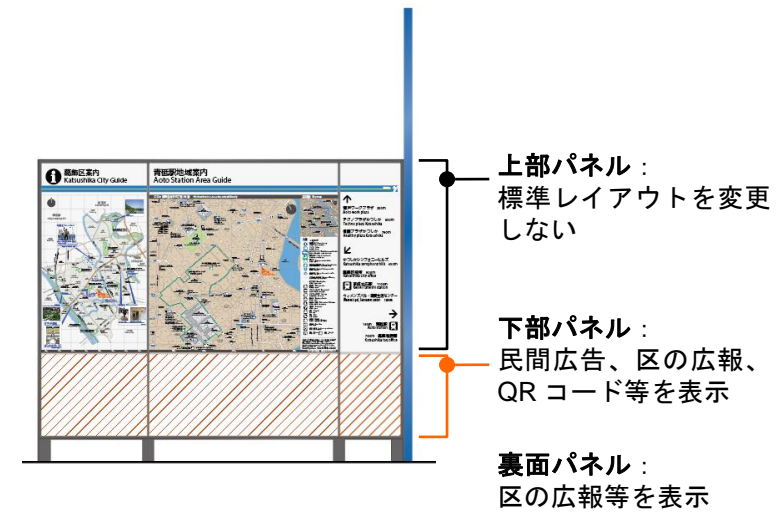
効果を見極め、必要な場面で採用する
周辺地域との連続性に配慮する



■表示情報の付加

- ・サインの下部パネルや裏面を利用して、民間広告、区の広報、QRコードなど、案内誘導以外の情報を表示する。

・案内誘導以外の情報の表示位置



・QRコードの表示例



■今後の課題

- ・電子的な表示機器を用いて情報を発信するデジタルサイネージの導入を検討する。
- ・視覚障害者に向けて、視覚以外による情報伝達について検討する。

7. 管理運用

○公共サインの管理対象を「ルール」「情報」「本体」に分け、組織的かつ一元的な管理運用体制を構築する。

○広告掲載を通じた民間事業者との協働、区民や利用者からの情報提供による連携を図る。

■公共サインの管理体制

